

～ごあいさつ～ 任期の1年目が終わりました！

こんにちは！藤沢市議会議員の柳田あゆです。

3月27日、令和5年度2月定例会は新年度予算をはじめ市側提案の全ての議案を可決し閉会しました。今回は直前に市長選挙が行われたため日程が詰まっていた大変でしたが、これで年4回の開催という議会の1サイクルを経験したことになります。

この一年は前だけを見て走ってきて、あっという間でしたが、振り返ると反省することしきりです。けれども、この一年は「学び」と「気づき」そして「出会い」の連続で、おかげ様で充実した議員活動ができました。この経験をいかし、新年度はバージョンアップしたいと思います。



2024年度 当初予算	
一般会計	1679億0600万円
特別会計	1331億8975万円
合計	3010億9575万円

藤沢駅南口駅前広場
再整備基本計画は
こちらのQRコード
でご覧いただけます



一般会計では「藤沢駅周辺地区再整備事業費」が目立ちます。新年度の事業費13億7758万円のうち小田急側工事の今年度分（5カ年の継続事業）については11億6383万円が計上されています。また、既に藤沢駅南口駅前広場の基本構想が昨年度に示されていて、今年度は具体的な検討に入っていきます。基本構想は「歩きやすい」ことを重視しており、イメージ図を見ると素敵な空間になりそうで、楽しみです。



藤沢駅南口駅前広場再整備基本計画より



藤沢駅南口駅前広場再整備基本計画より

～市長の選挙公約 学校給食無償化はどうか？～

去る2月17日に市長選挙が行われ、現職の鈴木市長が四選を果たしました。わたしは「行政の継続性」と「ボトムアップ型の市政運営」を評価し、鈴木市長を支持しました。鈴木市長は現職として市政全般を網羅した公約を掲げていて、私が市議選で訴えた「給食の無償化」もその中に入っていたので、予算案に盛り込まれるか注目していました。

残念ながら2024年度の当初予算には入っていませんでしたが、鈴木市長は「できるだけ早く、小学校から実施したい」との事なのでしたとします。一方、国でも学校給食の実態調査をおこない、6月には調査結果を公表し方針を示すと岸田総理は述べています。本来なら市というより全国一律で実施すべき施策で、国がしっかり予算をつけることを望みます。

～「地産地消」のために必要なこと～

今国会に【食料・農業・農村基本法】の改正法案が提出されました。法改正の理由として、国内外の情勢が変化したため、「食料安全保障」の強化が必要だと強調されています。いま国会で審議中ですが、この法律は日本の農政の根幹をなすもので改正の影響は大きいので、国会の動きを注視しています。

そして藤沢市は【地産地消の推進】を掲げ、市内の農水産業の活性化に取り組んでおり、『おいしい藤沢産』ののぼり旗やポスターをイベント会場で見られるようになりました。また、学校や保育園でも地場産品を活用して『ふじさわランチ』が提供されるなど、徐々に「藤沢産」が浸透してきていると思います。市役所広場で行われる『サンセット・マルシェ』、片瀬漁港の『フィッシャーマンズ・マルシェ』などにもぎわっています。これも関係各位と市の取り組みの成果だと、まずは評価したいと思います。



「おいしい藤沢産」のロゴマーク

地産地消は、文字通り地元で「生産」されたものを地元で「消費」するものです。事業費については、農地の改良や漁港の整備など、生産条件のための土木的な予算が多くなることは理解しますが、市民が市内産を求めやすくなるように【流通】に一層の取り組みが必要だと考えます。

5月12日（日）10時～11時半 藤沢市役所市民利用会議室3にて
「柳田あゆタウンミーティング」開催！ご来場を心よりお待ちしております♪



尊敬する石橋みちひろ参議院議員と

柳田あゆ 生まれも育ちも鵜沼海岸、「引地川のあゆ」です！
2023年4月初当選(1期)。1971年生まれ。父は元市長・衆院議員の葉山峻。父の秘書、あべともこ衆院議員の秘書を務めました。
現在、建設経済常任委員会、行政改革等特別委員会、広報広聴委員会に所属しています。

～鮎は河川環境の指標生物～

私の「あゆ」という名前の由来は魚の【鮎】です。

「川をきれいにする」という思いがこめられています。

情報発信中！

